



進路だより 第5号

夏休みが終わりました。特に受験生の皆さんは「暑い夏」になったでしょうか。3年生は一日体験学習を通じて「行きたい高校」「学びたい学科」がわかってきたと思います。これからも先の自分を見通して「こうなりたい自分」「これができている自分」を想像して生活してみましょう。

受験生の心得

・なぜ受験の心得が必要か。

寄稿して頂いた先生方の文章を読んでも、みなそれなりに挫折をしたり、人生の大逆転をした文面が見られます。「何のために」「人のせいにはしない」「結果に一喜一憂せず」「集中する」「何度もやる」「切り替える」そして一番大切なのは「あきらめない」ことです。

・マイナスの要素は取り除く

「受験にスマホは必要ない」 自分の自由時間の8割はスマホの利用を占めている人もいるかもしれません。ブルーライトがやる気をなくさせる原因ともいわれています。

・「良きライバルを何人か作ろう」 人は誰かのために頑張れるものです。また誰かからエネルギーを貰うことで頑張ることができます。

・「今が一番成長している」 わからない問題を解いているときに、「一番学力が伸びているとき」とよく言われます。難しい問題に直面して本気でぶつかっていく、様々な角度から問題を見ることで、物事のとらえ方が鋭くなり、結果として思考力が身につく、根本的な学力向上につながります。「考える力」がないと、この先の入試（大学を含む）にチャレンジするとき、その場限りの対応しかできません。1・2年生にも当てはまりますので、きちんと話を聞き、考える力を身につけましょう。

受験の思い出

	宮田先生	柳井先生	影山先生	伊藤先生	大島先生	鈴木海先生
いつから受験勉強をしたか	中3秋ごろ	中3の5月	中3の夏休み	中3の夏休み	中3の夏休み	中3秋ごろ
その時うまくいったこと	姉のおさがりの問題集と過去問をひたすら解きました。朝勉強していました。コーヒーを飲みながら。。。。	勉強は要領も必要だが、時間をかけないと、その容量にも気づけないことを知った。	中1・2の内容は簡単な問題集からやり始めたような気がします。	何から手を付けていいのかかわからない。気持ちばかり焦っていました。	気持ちは焦っていましたが、マイペースに取り組んでいました。	苦手教科と得意教科を7:3くらいの割合で勉強したら、プラス100点上がった。
中3での得意教科	英語・数学	理科・数学	英語・社会	社会・国語	社会・国語	国語・数学
中3での不得意教科	理科・社会	社会・国語	理科	数学	数学	英語

拝啓十五の君へ その5

3年6組担任 大谷津 尚子

私は、中学時代に通っていた塾と、ハマっていたものについて書きたいと思います。

私は小5のころから出身小近くの英語塾に通っていました。その塾は、町長さんの奥さんが元英語の先生でボランティアで塾を始めたいのですが、月謝はなんと良心的な1000円でした（昔は物価が違いうから安いんだね～という訳ではありません）。その塾は、家の敷地の隅にプレハブ小屋があって、靴を脱いで上がると長机が並んでいるというまさに寺子屋でした。夏には戸の隙間から入ってくる蚊と戦い、差し入れと言ってバナナと謎の缶ジュースが出され（あれは清涼飲料水だったのか？）、冬には飼い猫が窓から入ってきてストーブの前の座布団で寝ているという、なんともアットホームな塾でした。先生は穏やかで品がある方で、そんな環境で中学卒業までお世話になりました。

そして、夢中になっていたのは、雑誌“Roadshow”を読むことです。通学途中に図書館があって、よく友達とそこでその雑誌を読んでいたのを覚えています。その雑誌には、ハリウッド俳優や洋画情報が載っていて、友達と誰がかっこいいのそうじゃないのよく話していました。因みに私はケビン・コスナーという俳優が好きでしたね。そのころ好きだった映画は今でもずっと好きな映画の1つです。

そんなこんなで、その頃から私の周りにはずっと英語があります。学校の授業で学ぶ知識もちろん大事ですが、それ以外でも自分の「好き」を見つけて、進路選択や将来の職業選びに生かしていったほしいなと思います。

「高校受験を経験して、今、思うこと」

私の高校受験は、反省や後悔しかない思い出となって残っています。

そもそも、勉強をすることは大っ嫌い！定期テストでも、無計画で前日徹夜なんてこともかなりありました。特に、中学校3年生になって「受験生」と言われるようになったらもう大変！！勉強をしようと思うと眠くなる。いつの間にか寝ていて、気が付くと朝方になっている、勉強をしたところですぐに集中力が切れて、「勉強したのだからちょっと息抜きしよう！」なんて考えてそのまま投げ出す。受験間際になって取り組んだ勉強量も、塾の宿題＋家庭学習2時間程度…。とても恥ずかしい受験生でした。

入試の結果はというと、お分かりの通り桜が見事に散りました。当時は入試の合否が分かった日に生徒が学校に行き、担任の先生と進路について話す、ということになっており、私は歯を食いしばって学校に行き、泣きながら家に帰りました。その日のことを今でも覚えています、当然の結果だと思います。当時の私も、結果よりも自分に対して情けなく感じていたのです。

では、なぜ今、社会人としてやられているのか。それは、高校受験での失敗がきっかけでした。心の底からこのままではいけないと思った私は、中学生のときには考えられないほど勉強に打ち込みました…、というのは言い過ぎですが、高校からの指導もあり、勉強しかできないような日々を送りました。そのことについては、嫌な思い出として残っているわけではありませんが、もっと高校生らしい楽しい学校生活を送りたかったな…という気持ちは今でもあります。

こんな人生を送ってきた私から言えることは、「とにかく、逃げずに勉強をがんばってほしい」ということです。私は高校受験で苦い思い出と後悔しか残すことができませんでした。みなさんには楽しい高校生活、理想の未来を叶えてほしいと思っています。なんとなかると思ったり、どうせ勉強してもできないし…と諦めたりせず、とにかくがんばれるところまでがんばってください。がんばれないときは、友達や家族、ぜひ学校の先生を頼ってください！「努力は人を裏切らない」、がんばった経験は、必ず皆さんにプラスになって返ってきます。どんなことからでもいいです。今からできることを始めましょう！

令和6年度 進路に関する主な日程（3年生） ～12月まで

時期	進路関係行事	内容
9月9日配付・ 19日（木）締め切り	第1回進路希望調査	・結果は県ホームページや新聞紙上で発表あり
10/ 1（火）	私立高校説明会 私立高手続願い相談票（黄色）配付	・インターネットでの出願の仕方等についての説明 ・高校の先生方からの説明会 本校で実施
10/18（金） ～11/6（水）	私立高手続願い書（本書き緑色）配付 宇都宮工業高等学校説明会 16：15	・この手続き依頼書をもって、調査書等の作成に入ります。 ・宇都宮工業高の教諭が来校し説明（他宇都宮白楊高・宇都宮商業高も日程未定ですが、希望により行う予定です）
10/28（月） ～11/5（火）	三者懇談②	・受験する私立高校の決定 ・県立高校（特色選抜）の決定、進路の検討
11/8（金） ～11/25（月）	県立特色選抜手続き依頼書 ・下書き書類配付	・11/16（土）の県立高校入試説明会で詳しく説明
11/16（土）	県立高校入試説明会	・県立高校の入試についての本校での説明会
11月下旬	私立高校第1回出願 ※各学校によって締め切り日が違うので要注意	・各家庭でインターネットによる出願 ※願書等の書類送付による出願の学校もあり
12月上旬	第2回進路希望調査	・結果は県ホームページや新聞紙上で発表あり

